

<第114回調査>

2018年11月26日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2018年11月13日(火)13:00~2018年11月20日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は725件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

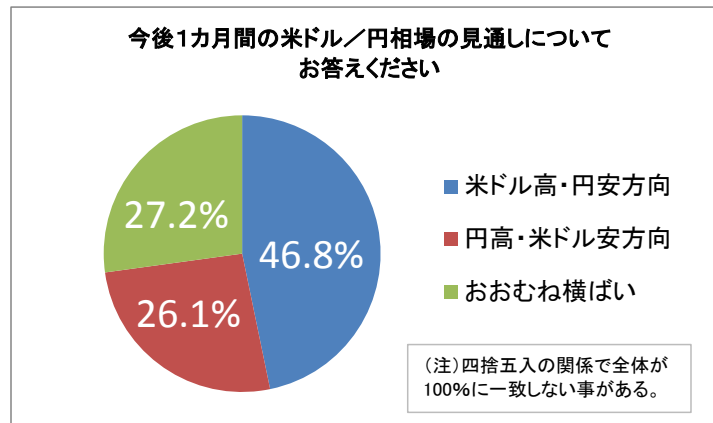
Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第114回調査結果略報：米ドルに押し目買い意欲】

問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

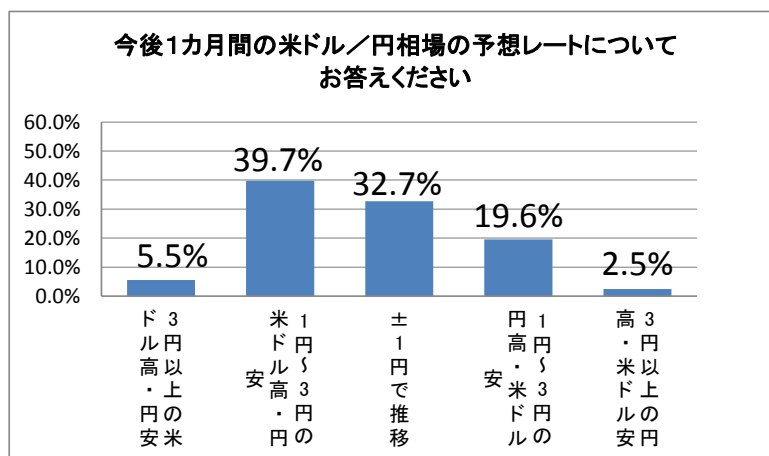
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「米ドル高・円安方向」と答えた割合が46.8%であったのに対し「円高・米ドル安方向」と答えた割合は26.1%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△20.7%ポイントとなり、9カ月連続で強気見通しを示すプラス圏を維持。プラス幅は前回(△5.1%ポイント)から拡大した。調査期間中の米ドル/円は、米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げが来年にも打ち止めになるとの見方が一部に浮上する中、114円台前半から112円台前半へと弱含みで推移した。ただ、個人投資家の見通しは相場展開とは反対に強気化しており、改めて押し目買い意欲の高さが覗える調査結果となった。

※過去の米ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が39.7%と最も多く、「±1円で推移(32.7%)」、「1円～3円の円高・米ドル安(19.6%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(5.5%)」、「3円以上の円高・米ドル安(2.5%)」という結果になった。ヒストグラムの形状は米ドル高・円安側に傾いており、問1の結果と整合的であろう。なお、調査期間中の米ドル/円相場が弱含みで推移したにもかかわらず、「1円～3円の円高・米ドル安」と答えた割合が前回調査(29.7%)から10%ポイント超低下したのが印象的だ。

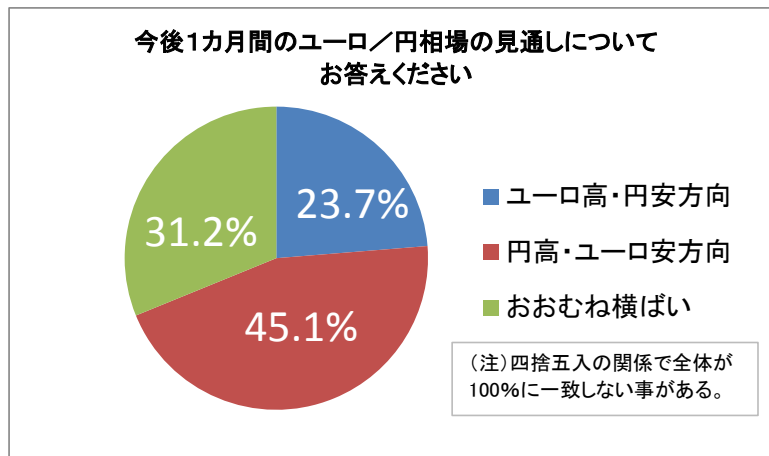


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

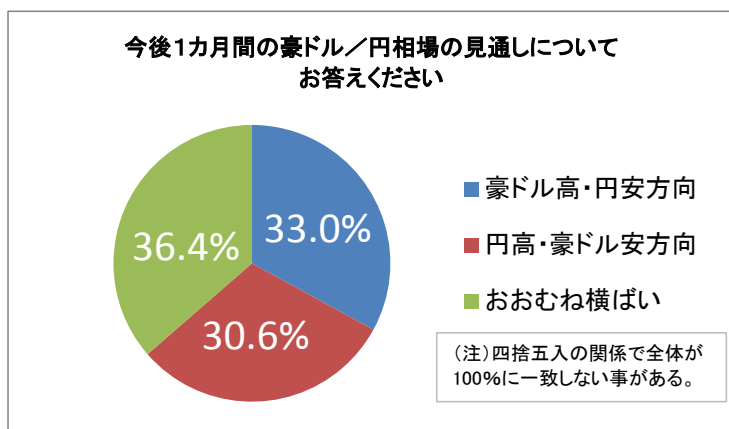
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が23.7%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合は45.1%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼21.4%ポイントとなり、4か月続けてマイナスDIを記録。マイナス幅は前回(▼19.0%ポイント)からやや拡大した。調査期間中のユーロ/円は128円台を中心にもみ合う方向感に乏しい相場展開であった。なお、ユーロ/米ドル相場は、米ドル安の影響で堅調だった。とはいえ、イタリア政府の予算案を巡る欧州連合(EU)との確執などが引き続きユーロを圧迫するとの見方が後退する事はなかったようだ。※過去のユーロ/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が33.0%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は30.6%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は△2.4%ポイントとなり、4か月ぶりに小幅とはいえ強気見通しを示すプラスDIとなった。調査期間中の豪ドル/円は、82円台後半まで上昇する場面もあったが、81円台に失速する「往って来い」の相場展開となった。それでも、11月末に米中首脳会談を控えて、貿易摩擦への懸念が和らいだ事などが見通しの変化に繋がったと見られる。上海株の下落が一服している事も個人投資家心理の改善に寄与したのだろう。※過去の豪ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



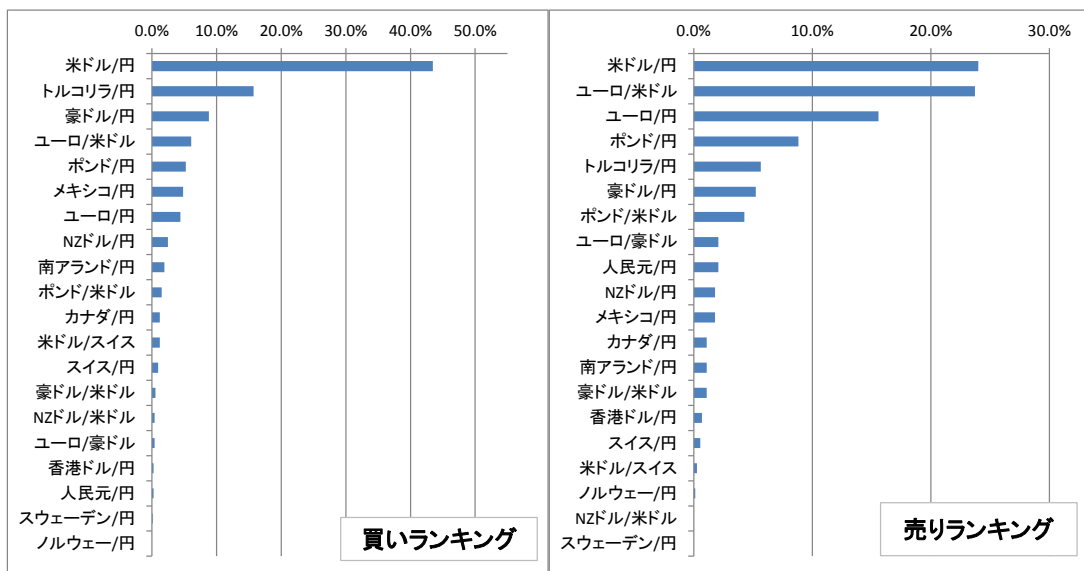
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が43.4%の回答割合を集めて首位をキープした。以下、2位がトルコリラ/円(15.7%)、3位に豪ドル/円(8.8%)、4位ユーロ/米ドル(6.1%)、5位ポンド/円(5.2%)の順に続いた。米ドル/円が74カ月連続で首位の座をキープしたほか、2位のトルコリラ/円と3位の豪ドル/円も順位を維持した。なお、前回4位だったユーロ/円は7位に順位を下げたが、回答割合は前回の5.6%から4.4%へ、1ポイント強低下したにすぎなかった。米ドル/円以外に「買い」で注目の通貨ペアが少ないがゆえに、4位から10位前後までは順位が入れ替わりやすかったと見られる。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が24.0%の回答割合で25カ月連続でトップを維持した。続いて2位がユーロ/米ドル(23.7%)、3位ユーロ/円(15.6%)、4位ポンド/円(8.8%)、5位トルコリラ/円(5.7%)の順になった。特筆すべきは、ユーロ/米ドルが米ドル/円を激しく追い上げて、0.3ポイント差に肉薄した点だろう。イタリアの財政不安がさらに高まるようなら、次回調査では「売り」で注目の首位交代が、2年超ぶりに実現する事になるかもしれない。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

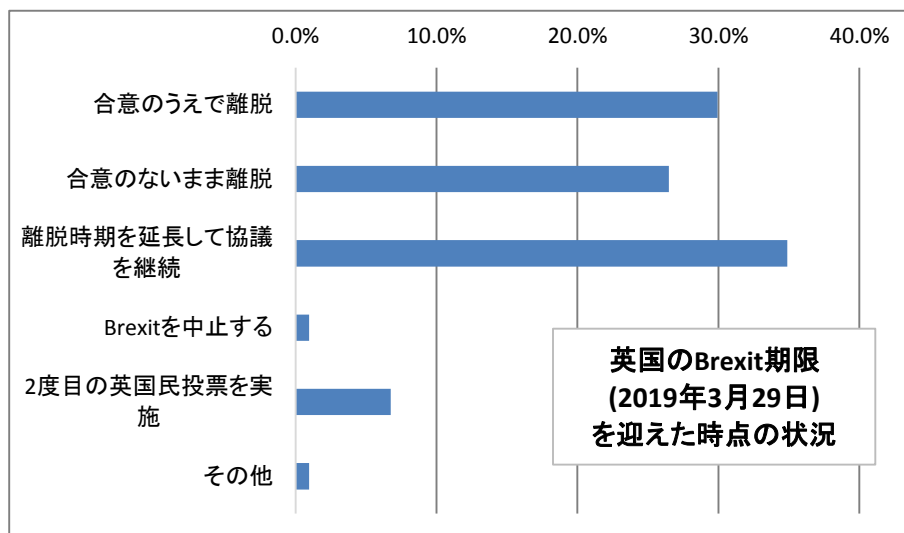
Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6: 英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitの期限が2019年3月29日に迫っています。期限を迎えた時点の状況をどう予想していますか

今回の特別質問として、「英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitの期限が2019年3月29日に迫っています。期限を迎えた時点の状況をどう予想していますか」と尋ねたところ、「離脱時期を延長して協議を継続」が34.9%と最も多かった。離脱後の通商関係など、交渉すべき点(英国とEUの見解が異なる点)が多すぎて時間が足りなくなるとの見方に基づいた予想であろう。同様に、交渉の時間が足りなくなった結果、「合意のないまま離脱」という見方も26.5%と、それなりに多かった。

また、期限までに合意が成立して「合意の上で離脱」という、波乱が少ない形でのBrexitを予想する向きも29.9%に上った。他方、「2度目の国民投票を実施」との回答は6.8%、「Brexitを中止する」は1.0%と、いずれも少数だった。

なお、それぞれの回答理由について自由記述形式で尋ねたところ、「最終的には合意なき離脱になると思うが、その前に延長があると思う」、「アイルランドとの国境問題は解決しようがない」、「EUは(他の国の離脱を連鎖させるような)先例を作らないためにも合意するとは思えない」、などとどちらかと言えば悲観的な意見が多かった。Brexit問題の着地点が見通せる状況になるまでは、個人投資家の債券相場に対する悲観的な見方も続く公算が大きいと考えられる。

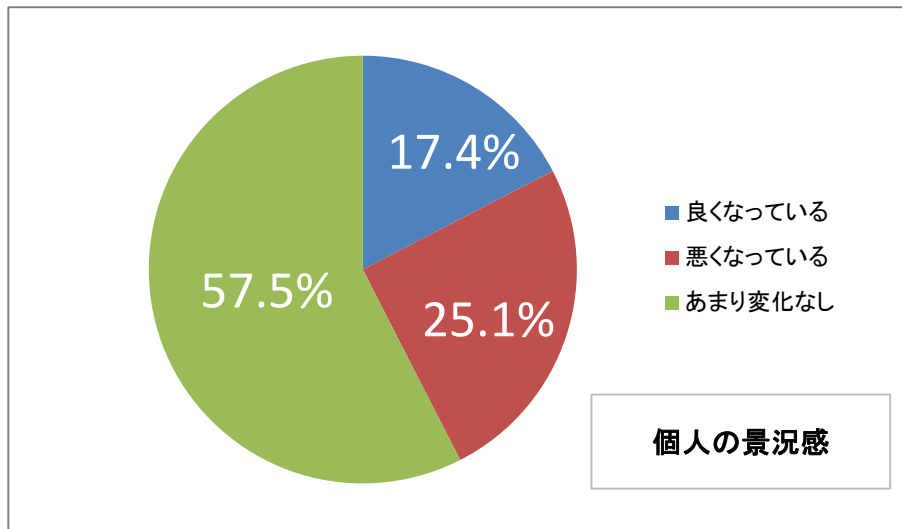


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6: あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)

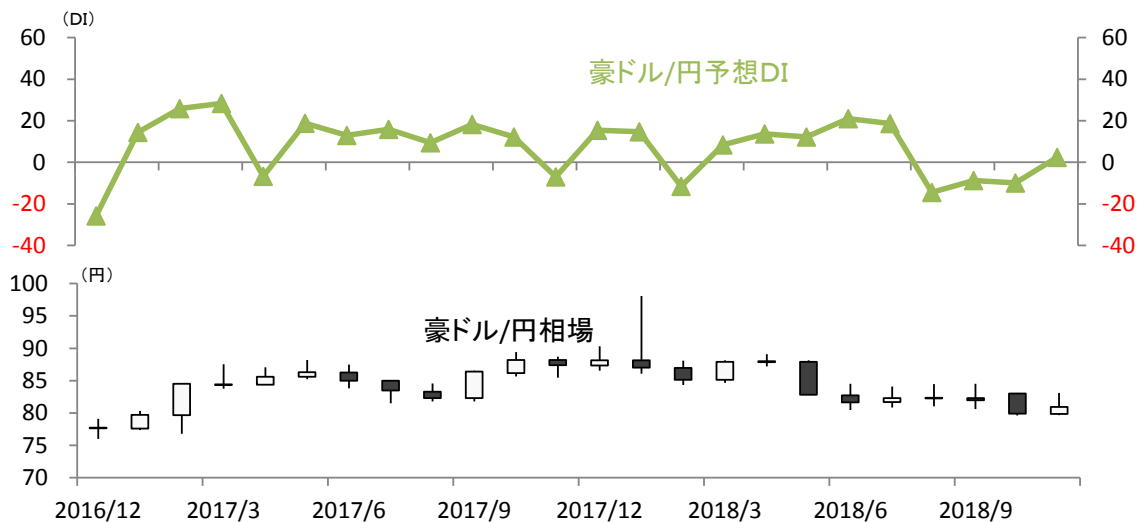
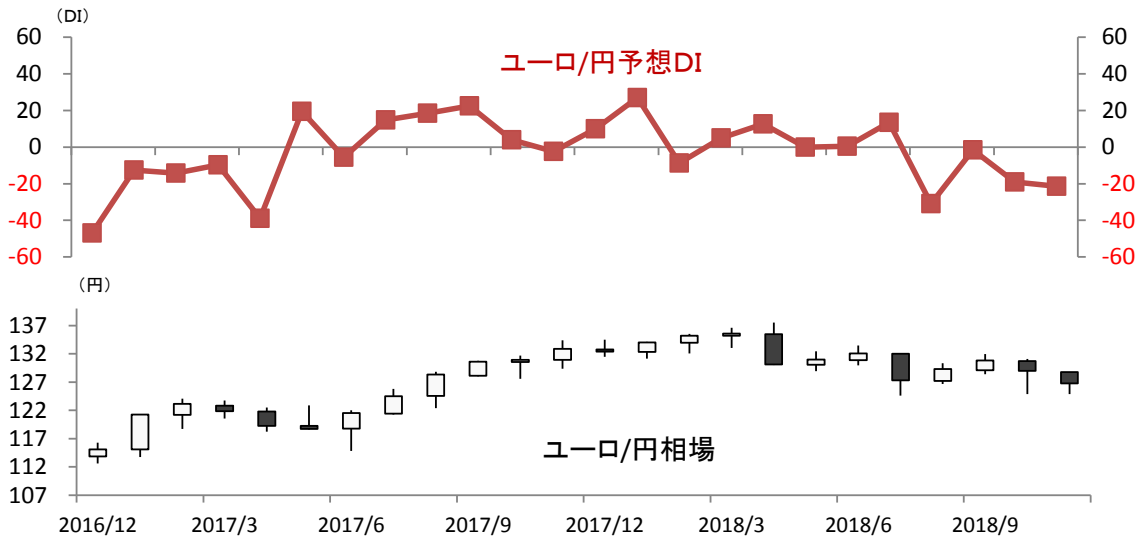
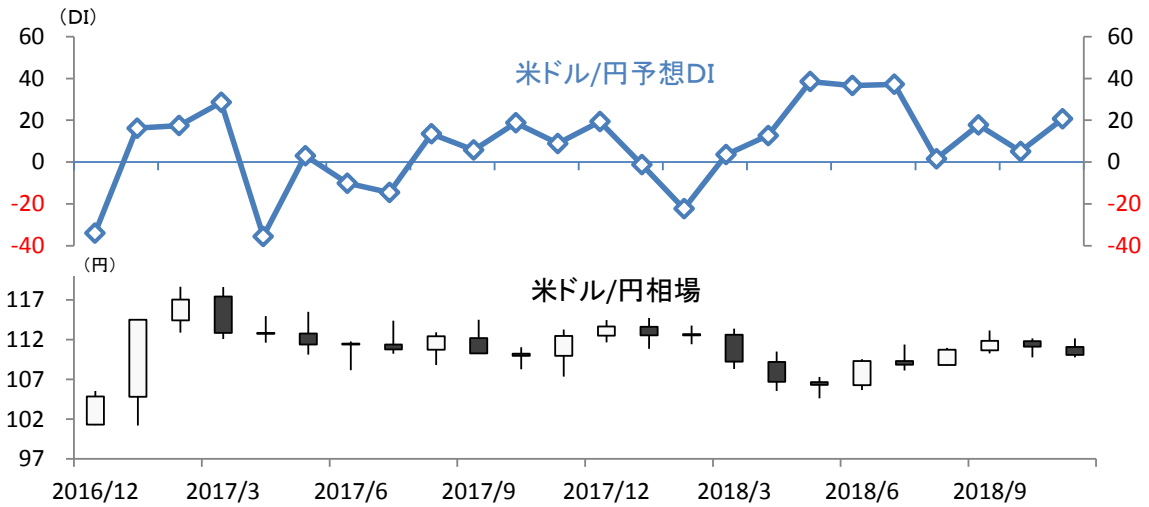
今回のもうひとつの特別質問として、「あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「良くなっている」が17.4%、「悪くなっている」が25.1%、「あまり変化なし」が57.5%と過半数を占めた。3カ月前の8月調査で同じ質問をした際も、「良くなっている」が14.0%、「悪くなっている」が27.4%、「あまり変化なし」が58.6%であり、回答割合は今回の調査と概ね同様であった。2018年後半は、夏場に新興国通貨が下落基調を強めたほか、秋口には世界的に株価が下落するなど、金融市場に混乱の兆候が見て取れた。ただ、そうした中であっても、個人投資家の景況感が目立って悪化することはなかった。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第114回目となりました。調査開始から9年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めていきたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

| | | 米ドル/円 | | | ユーロ/円 | | | 豪ドル/円 | | |
|-------|-----|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|
| | | 米ドル高 | 米ドル安 | DI | ユーロ高 | ユーロ安 | DI | 豪ドル高 | 豪ドル安 | DI |
| 2016年 | 12月 | 64.4 | 20.2 | 44.2 | 36.6 | 28.3 | 8.3 | 50.0 | 21.6 | 28.4 |
| 2017年 | 1月 | 35.2 | 54.0 | -18.8 | 18.3 | 54.1 | -35.8 | 28.9 | 35.5 | -6.6 |
| | 2月 | 46.2 | 28.7 | 17.5 | 23.8 | 38.1 | -14.3 | 41.9 | 23.1 | 18.8 |
| | 3月 | 53.3 | 24.7 | 28.6 | 27.6 | 37.4 | -9.8 | 36.1 | 23.1 | 13.0 |
| | 4月 | 21.6 | 51.7 | -35.5 | 17.7 | 56.6 | -38.9 | 19.6 | 46.4 | -26.8 |
| | 5月 | 38.4 | 35.3 | 3.1 | 45.9 | 26.5 | 19.4 | 34.9 | 27.0 | 7.9 |
| | 6月 | 33.3 | 43.4 | -10.1 | 31.5 | 37.1 | -5.6 | 33.7 | 25.7 | 8.0 |
| | 7月 | 30.7 | 45.2 | -14.5 | 42.4 | 27.6 | 14.8 | 42.8 | 26.9 | 15.9 |
| | 8月 | 45.5 | 32.0 | 13.5 | 43.8 | 25.3 | 18.5 | 37.3 | 27.9 | 9.4 |
| | 9月 | 40.8 | 35.0 | 5.8 | 44.4 | 22.0 | 22.4 | 40.9 | 22.7 | 18.2 |
| | 10月 | 48.2 | 29.4 | 18.8 | 35.5 | 31.5 | 4.0 | 37.9 | 25.6 | 12.3 |
| | 11月 | 40.0 | 31.1 | 8.9 | 29.0 | 31.4 | -2.4 | 26.9 | 33.8 | -6.9 |
| | 12月 | 45.5 | 26.1 | 19.4 | 35.0 | 25.0 | 10.0 | 38.0 | 22.6 | 15.4 |
| 2018年 | 1月 | 38.0 | 39.2 | -1.2 | 48.2 | 21.3 | 26.9 | 37.3 | 22.6 | 14.7 |
| | 2月 | 29.1 | 51.4 | -22.3 | 30.1 | 38.9 | -8.8 | 28.4 | 39.9 | -11.5 |
| | 3月 | 39.6 | 36.0 | 3.6 | 34.0 | 29.0 | 5.0 | 38.6 | 30.2 | 8.4 |
| | 4月 | 42.8 | 30.1 | 12.7 | 37.9 | 25.3 | 12.6 | 39.0 | 25.3 | 13.7 |
| | 5月 | 57.4 | 18.9 | 38.5 | 30.3 | 30.3 | 0.0 | 34.9 | 22.6 | 12.3 |
| | 6月 | 55.5 | 18.9 | 36.6 | 33.0 | 32.5 | 0.5 | 39.5 | 18.4 | 21.1 |
| | 7月 | 58.1 | 20.9 | 37.2 | 37.9 | 24.3 | 13.5 | 40.3 | 21.6 | 18.7 |
| | 8月 | 37.3 | 35.7 | 1.6 | 22.1 | 53.1 | -31.0 | 27.4 | 41.9 | -14.5 |
| | 9月 | 42.6 | 24.8 | 17.8 | 30.4 | 31.9 | -1.5 | 29.7 | 38.4 | -8.7 |
| | 10月 | 40.4 | 35.3 | 5.1 | 24.3 | 43.3 | -19.0 | 28.6 | 38.5 | -9.9 |
| | 11月 | 46.8 | 26.1 | 20.7 | 23.7 | 45.1 | -21.4 | 33.0 | 30.6 | 2.4 |

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com